

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第472号(平成25年3月7日発行)

【今週号の主な内容】

■《今週の報道発表》 今週の報道発表はございません。

■《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 平成 24 年度補正予算が成立、港湾整備事業費 1022 億円
2. 交通政策審議会第 51 回港湾分科会を開催
3. 国土交通省ら主催で「第7回海の再生全国会議」開催

=====

《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. 平成 24 年度補正予算が成立、港湾整備事業費 1022 億円

平成 24 年度補正予算が 2 月 26 日に成立し、港湾整備事業には 1022 億 5900 万円(直轄 931 億 7000 万円、補助 90 億 8900 万円)が予算化された。1022 億円のうち、真水は 785 億円、ゼロ国は 237 億円である。また港湾海岸事業は 65 億 5500 万円(全て直轄)で、うち真水 42 億円、ゼロ国 23 億円。

補正予算の性格から、地方整備局等では準備が整った事業から順次発注し、同予算を通じて港湾機能の早期拡充、地域経済の活性化等を下支えしていく。

港湾整備事業関係補正予算は、日本経済再生に向けた緊急経済対策の重点 3 分野、①復興・防災対策、②成長による富の創出、③暮らしの安心・地域活性化、に沿って予算配分している。

【港湾空港タイムス】

2. 交通政策審議会第 51 回港湾分科会を開催

交通政策審議会第 51 回港湾分科会(黒田勝彦分科会長)が 2 月 27 日に開催され、石狩湾新港、大阪港、神戸港の各一部変更計画について審議し、いずれも原案通り適当であると答申された。

このうち石狩湾新港は、北海道電力の LNG 火力発電所建設計画を踏まえ、西地区の土砂処分用地 28・7ha を工業用地に変更。

大阪港では夢洲地区の国際コンテナターミナル C12 パースを対象に、現状のマイナス 16m 延長 400 m をマイナス 16m 延長 650m に変更した。未整備であった YC パース部分を C12 パースの延伸部として整備する。

神戸港では、大型コンテナ船の安全かつ円滑な航行を実現するため、第三航路を既定計画のマイナス 15m～16m、幅員 500mからマイナス 16m、幅員 600mに変更。

また六甲アイランド地区では現状でマイナス 14m～15mとなっているRC6、7バースをマイナス 16m 総延長 800mに変更した。これに伴い泊地、ならびに航路・泊地も増深・拡幅する。

【港湾空港タイムス】

3. 国土交通省ら主催で「第7回海の再生全国会議」開催

国土交通省、国土技術政策総合研究所、(独)港湾空港技術研究所は2月25日、東京都江東区の日本科学未来館で「第7回海の再生全国会議」を開催した。『みんなで考えるこれからの海の再生』をテーマに、沿岸域の総合的な管理や海域環境の改善と再生、市民活動による自然再生の取り組み等について講演や話題提供が行われ、海域環境に係る最新情報の共有化を図った。

開会にあたり、国土交通省の池上港湾局海洋・環境課長が、「本日の会議では各湾の再生推進会議の取り組みや知見を共有するとともに、関連する話題を提供して頂くことになっている。東京湾再生推進会議の設置から10年を迎え、海の再生への取組は現在分岐点に立っていると感じている、本日の会議が今後の取組みの推進につながれば幸い」と挨拶した。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員：細貝 隆司 五洋建設(株)

徳田 英司 新日鐵住金(株)

丸山 裕之 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団(内)

担当：首藤、大矢、小高 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####